

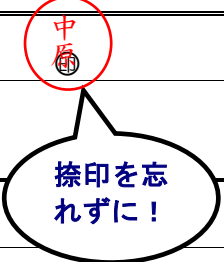
川崎市中原区社会福祉協議会ボランティア銀行なかはら運営委員会
 令和6年度区社協区社協会員(当事者団体・ボランティア団体)
 福祉活動助成申請書

記入例

記入日： 令和6年 4月 20日

1 団体の概要

団体名	おたがいさまのまちをつくる会				
代表者氏名	中原 パルるん	TEL	044-0000-△△△△		
代表者連絡先	〒211-00** 中原区〇〇町△△	FAX	044-XXXX-□□□□		
連絡担当者氏名	同上	TEL			
連絡担当者連絡先	〒	FAX			
活動領域	※□にし印をつけてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 町づくり <input type="checkbox"/> 余暇活動 <input type="checkbox"/> その他 ()				
団体の目的	「みんなが主役」「みんなにわかる」「みんなでつくる」おたがいさまの心で満ち溢れる福祉のまちづくりの推進を目指し、ボランティア活動に取り組む。				
設立年月	平成23年 4月	活動年数	11年		
活動日	第2・4水曜日 午後2時~4時	活動場所	福祉パルなかはら		
構成員数	20名	中原在住	中原区在住者は 20名中 20名	会費	1人 年間1,000円
↓活動の目的がサロン運営など利用者・参加者がいる場合のみ記入。					
参加者数	30名	中原在住	中原区在住者は 30名中 30名	参加費	1回200円
地域との関係	活動の広報活動を行っている・ 行っていない		会員の募集活動を行っている・ 行っていない		
※案内や募集チラシを作成している場合には、関係書類としてご提出ください。					



2 助成金対象事業の活動計画 ※活動内容・目的・助成金使途内容等、具体的にご記入ください。

助成金を使って行う事業について、次のポイントを中心にご記入ください。

- 内容・目的（誰を対象に・どんなことを・どのように行うのか）
- 計画（いつ・どこで行うのか）
- 使途内容（助成金の具体的な使い道）

3 助成申請金額および使途内容

申請金額	30,000 円
使途内容	<p>該当する事項に☑を付けてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学習会、講演会等の開催経費の一部補助</p> <p><input type="checkbox"/> 年次活動経費の一部補助</p> <p><input type="checkbox"/> その他の活動経費の一部補助</p>

4 助成金対象事業の収支予算内訳（見込み）

<収入の部>

科 目	金 額 (円)	内 訳
(1) 本助成金申請額	30,000	
(2) 自己資金	50,000	年間1,000円×20名 バザー売り上げ 30,000
(3) 参加者負担	30,000	1回200円×30名×5回
(4)		
(5)		
合 計	110,000	

<支出の部>

科 目	金 額 (円)	内 訳
助成金対象経費	(1) 会場費	25,000 5,000円×5回
	(2) 講師謝礼	25,000 5,000円×5回
	(3) 広報費	10,000 広報資料作成費
	(4) 通信運搬費	20,000 切手代
	(5) 印刷製本費	20,000 コピー代
	(6)	
	(7)	
小 計	100,000	
その他経費	(1) 会議費	5,000 定例会お茶代
	(2) 交通費	5,000 交通費
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	
	(7)	
合 計	110,000	

収入の合計と
支出の合計は
同じ金額になり
ます